

第125回 『わかるように伝えていきますか』

香川大学教育学部附属幼稚園，園長
香川大学教育学部附属坂出小学校，校長 坂井 聡

本校での取り組み

私が校長をしている学校、香川大学教育学部附属坂出小学校では、Instagram や Facebook で学校での取り組みを紹介しています。

<https://www.facebook.com/profile.php?id=100057583984621>

学校で取り組んでいる様々なことについて週2回くらいの頻度で発信しているのです。授業については指導案もついていたります。特別な支援が必要な子どもたちも当然いますので、特別支援教育の視点も取り入れながら紹介するようにしています。ぜひ見ていただけたらと思います。今日は本校の運動会の表現種目について紹介したいと思います。

コロナの中ではありますが、規模を大幅に縮小して運動会を行うこととなりました。種目は表現種目と他に一種目ということになっています。低学年、中学年、高学年の三つのグループに分けて分散開催となっています。

私は本校の表現種目はいつも素晴らしいものになっていると感じ、毎回涙が出るくらい感動するのですが、なぜだろうと思っていたのです。今年は観察しながら練習を見ていました。そうすると一つ原因が分かったように思います。それは、先生方の指導です。大きな声で怒ることがないのです。ポジティブな声掛けが続くのです。子どもたちがいやいやするのではなく、やる気を出すことができるような声掛けの工夫がずっとされているということです。もちろん、子どもたちに考えさせる場面も設けています。みんなが参加することができるようにするために、どうするのかも考えるようにしています。これが原因の一つなのだと感じました。

そしてもう一つ、それは、本質を知って練習することです。この写真、着替えていない児童もいます。事情があって着替えていないのです。でも、参加できています。事情があるのですから仕方ありません。今回分かってもらいたいのはダンスの動き。もちろん体操服の方が動きやすいに決まっていますが、本質がクリアできれば良いのであれば、参加はOKです。体操服を着ていない人は参加できませんということだと、その考え方が、障害になっているということだと思います。参加や活動ができるようにするために、どのような工夫をするのか。ICF の考え方が、教育課程の中に少しずつ浸透していることがわかります。

このことが、子どもたちの参加や活動を促すことになるのです。



私も、先生方のやりたいことが制約を受けないように、その取り組みを応援することができるようなシステム作りを心掛けたいと思います。多様な子どもがいて、いろいろな先生がいてみんなが楽しいと感じることができる学校を目指したいと思うのです。これからの発信をご待ください。

～坂井聡先生の紹介～

((プロフィール))

香川大学教育学部卒業 金沢大学大学院教育学研究科修了、香川大学教育学部附属養護学校など養護学校教諭を経て、現在香川大学教育学部障害児教育コース准教授。1997年には自閉症のコミュニケーション指導で辻村奨励賞受賞。2013年より教授に就任。